

あなたの心にジャストミート 10月20日メッセージ
動かぬ(鉄壁)結論(士師 21:25)

なにをして、どのように生きることが正しく生きる
ことかと悩むことがあります。それ以前に、人生と
はいついかにかという答えを得て、聖書を基準
にして正しく人生の結論を出すべきです。そうで
ないと、方向もちがいが、いつまでも過去にとらわれ、
傷となり、いまま現実のなにかに執着して生きる
しかありません。今日の聖書箇所は士師記の最後
ですが、「そのころ、イスラエルには王がなく、
めいめいが自分の目に正しいと見えることを行な
っていた。」とされています。神の民なのに、未
信者と同じ状態だったのです。王がないというの
は、キリストが不在だったということです。そのこと
から、動かない鉄壁な結論を握るようにしましょ
う。

結論の1つ目は、**人にはまったく希望がない**
ということです。イスラエルの民は滅びるしかない状
態になり、それを神様があわれまれ、
士師によって助けられましたが、また、
同じことを繰り返しました。神様を王と
して信じることはまったくなかったの
です。聖書全体の結論であり、各巻の
結論であり、また、いまままで歴史を通
して啓示されてきたこと、個人の人生を通して
も悟れることは、人間には希望はない、期待するこ
とはできないということです。人間は罪の本性が
あり、人間には希望はないという、この聖書の結
論を真正面から否定します。その罪の本性をあ
おるようにサタンが作り出した世の流れ、風潮が
ヒューマンイズムです。人間には可能性があると
言います。世界中はその考え方で教育されていて、
意識することすらありません。希望があり、可能
性があるからと、人間は道徳や律法の物差しで
是非を問い、外見やうわべの能力で評価しま
す。

しかし、聖書で語られる神様の評価、霊的な評
価は、すべての人が罪を犯したので、義人はひと
りもない(ローマ 3:23)ということです。神様に対し

て罪を犯す能力しかありません。根本から本能
的に神様を拒否します。すべての人は罪人なの
で、人間は期待する相手ではありません。それゆ
え、失望する必要もありません。すべての人間は、
神様の愛が必要な救いの対象です。

結論の2つ目は、**キリストだけが希望だ**というこ
とです。これが神様からのメッセージです。このこ
とがわかるように、つらさ、病気、困難が許される
のです。人が努力すれば希望があり、世の中は
豊かさや化学・文明の発展で良くなると言います
が、政治、教育、システムには希望はありません。
どんなに努力してもむくわれないので、希望を求
めて宗教、瞑想、修行に励みますが、それは希望
にはなりません。キリストの他には希望はない
のです。神様はキリストだけだと言われます。女
の子孫が来て蛇の頭を踏み砕く(創世記 3:15)、そ
れ以外はないと言われました。そのキ
リストが実際に来られ、十字架につけ
られ、すべてを完了されました。イエ
スがキリストです。そこだけが希望です。
すべての罪を赦して、サタンの頭を踏
み砕き、滅びの地獄の運命を一度に

解決されたのがイエス・キリストです。イエス以外
は希望ではないのです(ヨハネ 14:6、使徒 4:12)。イエ
ス様は世に来られて最初に言われました。「悔い
改めなさい。天の御国が近づいたから。」(ヨハネ
4:17)希望ではないものに希望を求めていたところ
からUターンして、キリストに戻ることに、それが悔い
改めです。人生に疲れた人に、なおしてから来な
さいとは言われませんでした。すべてわたしのと
ころに来なさい(マタイ 11:28)と言われました。キリスト
の他には希望はないのです。イエス様の横で十
字架にかけられていた強盗が、イエス様をキリス
トだと告白したら、イエス様はその人は「わたしと
ともにパラダイスにいます」と言われました。エリート
でパリサイ人の指導者だったニコデモに、イエス
様は御子を信じることに希望はないと、新し



く生まれないと希望はないと言われました(ヨハネ
3:16)。ヨハネ4章でサマリヤの女は、なにもないと
あきらめていましたが、イエス・キリストに希望があ
ると知りました。姦淫の現場でつかまった女も、罪
に定められ、死んで当然だったのですが、イエ
ス・キリストの前に希望がありました(ヨハネ 8:11)。キ
リスト以外のひっかかるすべてを捨ててイエス
を見上げなさい(ヘブル 12:2)。これが結論です。

3つ目は、**この世に絶対的に必要なのは伝道
だ**ということです。すべての民族に伝えられ、そ
れから終わりが来ます(マタイ 24:14)と言われたよ
うに、歴史が伝道にステップを合わせて動いてい
ます。時が良くて悪くても福音を伝えなさいと言
われました(IIテモテ 4:2)。どんなときも、私たちが
やるべき、変わらない不動の結論は福音宣教で
す。社会的な必要と本質的な必要はちがいます。
信徒のメインジョブは、福音宣教です。世の仕事
は、管理人として生きようと言われています。

この3つの結論が聖書に言われている結論で

す。これらをまとめると、信者はすでに幸せで、希
望であるキリストを受け入れたから、この世に絶
対に必要な存在になっています。伝道だけでは
できる存在につくり変えられたのです。幸せな者、
伝道者という不動の結論を持ちましょう。(マタイ
5:3、エペソ 1:3、ヨハネ 17:18)伝道者として世に遣わ
されています。可能になるように、聖霊が内住され
ている、主のからだなる教会となりました(1コリント
3:16、エペソ 1:23)。すでに伝道者で、すべて与えら
れています。自分は現場灯台だと考えるだけで
よいのです。

聖書の結論が自分の結論なのか、じっくりと吟
味して考えましょう。そして、私が聖書の結論に
屈服してのめりこんでいきましょう。すべてのこと
は、この結論に導かれるための養育係として活
用しましょう。結論にしっかり立つ、勝利のクリ
スチャンになることをお祈りします。

(<http://jremnant.com>に音声と動画が出ています)

士師記 21:25 不動(鉄壁)結論

なるほど/聖書は、人には絶対希望などなく、ただキリストだけが希望で、だからこの世の絶対的必要
は伝道だと結論付ける。この結論が信者の動かぬ結論となる時、見る目が変わり、すべての状況で神の
国を味わい、証人として勝利の道を歩むことになる。
ならば/聖書の結論が自分の不動の結論かを問い、祈りの中でずっと告白しよう。信者である自分は幸
せ者であり、生きる理由は伝道だということを確認して感謝しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文(2019年10月20日)

1部礼拝：過去、現在、未来が隠されたところ(使 19:21)

「ローマも見なければならぬ！」その身分と権威を与えて、その契約を正しく握って証人の道を
歩むようにしてください感謝します。私のすべての過去について天命の土台にする重要な契約を握
りますように。今日は神様の絶対的なことを見て、絶対計画を握って、絶対旅程に従い、絶対目標
を成し遂げますように。未来の中にある神様のただ、唯一性の答え、ただ証人の祝福を見つめます
ように。全世界にキリスト、神の国、ただ聖霊の契約を伝えますように。イエス・キリストの御名
によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：みことばの種を蒔く者たち(マコ 4:13-20)

どんな状況の中でも、正しい契約を握った一人として、家系と地域がすべて生かされる祝福を与
えてください感謝します。いのちのある種、キリストの福音を良い地に蒔いて根を下ろし、残りの者、
残る者、残れる者、残す者を通してたくさんの実を結びますように。いのちのみことばの流れに従
って、この時代の最高の献身をしますように。いのちの流れに従って、今みことばの成就を見なが
ら未来を準備して、237につながる未来を見ますように。ただ聖霊によって祈り 24、みことば 24、
証人 24 を回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。